



佛蘭西答屈智幾
三

洋学文庫
文庫8
C 300
3





佛蘭西答屈智幾卷之三

陸侯氏



村上英俊 譯

第六十六章 側面行軍ヲ為ス。又縱隊ノ數
 此類ノ進行ノ法ハ。前部ニ於テ。平行線ノ如ク。軍
 兵ヲ動作セシメ。又々進行ノ側面ニテ。戰陣ヲ作
 ルヘキヲ。余既ニ之ヲ示セリ。之ニ因テ。各線ニ
 別縱隊ヲ作ルヘシ。○此ノ如ク。軍隊ノ軍兵。平易

佛蘭西答屈智幾卷之三

ノ地ニ於テハ。手快ク。二縦隊ヲ作ル。平易ノ地ニ於テハ。歩隊二線ニ。齊整シテ。中隊ヲ為ス。其時間ニ。騎隊同ク二線ニ。齊整シテ翼隊ヲ作ス。○山地險地ニ於テハ。歩隊第一陣ヲ作シ。戰陣ノ前隊ヲ為ス。其時間ニ。騎隊後陣ヲ作シ。戰陣ノ後隊ヲ為ス。軍隊ノ軍兵ハ。三縦隊。或ハ四縦隊ニ分ル。

第六十七章

余ガ二隊ニテ。軍隊ヲ進行セシメント。欲スルヲ述フル。此第一處分ハ。諸地ニ於テ。厚キ軍隊ヲ作ス。ナリ。此隊ハ。進行スルニ困難ナリ。而ノ余開

ケタル。平易ノ地ニ於テハ。第二處分ヲ。障碍ナク行スヘキ。形勢アルヲ證ス。即チ騎隊。兩翼ノ合一ハ。進行ノ内側ニ。一隊或ハ數隊ヲ。作スフ許ス。第六十八章。三隊或ハ四隊ニテ。進行レ得ル

機會

縦隊側面ニ。作ルヘキ。戰陣列ニ於テ。騎隊ヲ翼隊ニ。備クベキ要務アルキハ。進行ノ内側面ニ。進行スル騎隊ノ軍士ハ。其前部ノ殆ント。排列スル後ニ。アラサレハ。馳スルヲ得サルベシ。若シ騎士。歩隊ヲ高處ニ。残スノ慮ヲ。為スキニハ。殊ニ然リ。○

騎隊ハ。二十五依私哥獨龍部ヲ容ルヘキ。千二百
 メートレス。我佛尺三尺三寸ハノ長ヲ。六分時ニ容
 易ク。馳セ行クヲ。人皆知レリ。○之ニ由テ。騎隊
 ハ。歩隊線ノ少シ後部ニ。備フハ切實ナリ。然レモ。
 直ニ騎隊ハ。高處ヘ容易ク。達シ得ヘシ。又ターニ
 ハ。此距離ハ。騎兵ノ新戦陣列ニ整フヘキ最要ヲ。
 數ク大ニスヘシ。何トナレハ。騎兵ハ。攻撃スヘキ
 場所ヨリ。或ル距離ニ。通常在ルベケレハナリ。
 第二ニ。進行軍内側面ニアル。別騎縦隊ノ此處分
 ハ。縦隊側面ニ布クベキ。戦陣ヲ左右翼ニ。全騎ヲ

移動セシムル。方略ヲ易カラシムヘシ。

第三ニ。軍隊。其縦隊ヲ増スニ於テ。進行ヲ急ニス
 ベシ。而シテ進行ノ前部ニ。最廣キ地ヲ。奪略シ占ム
 ベシ。若シ敵襲ヒニ至ルキハ。縦隊ノ首ニ。戦陣ノ
 齊整ヲ。易カラシムレハナリ。○騎隊ハ。側面ヲ備
 ヘル。歩隊ノ前線ヲ。圍ミ入レス。騎隊乱レルト雖
 モ。混亂ヲ。歩隊前線ニ及サズ。

第六十九章。グイベルド氏ノ示セル法ニ優
 リ便利ノ法

側面行軍ニ於テ。縦隊ヲ増ス。此法ハ。グイベルド氏

ノ示セル。半線ヨリ為セル縦隊ヲ為シ。行軍法ニ最モ優レリトス。○此處分ハ。唯ニ行軍ノ規則ニシテ。他事ヲナス能ハス。此法ニ因レハ。全軍隊ニ於テ。其側面ニ戰陣ヲ。整ヘシムル。甚タ難シトス。何トナレハ。歩隊ノ半ハ。布陣ノ前ニ。全軍隊ノ戰陣列ニ。占ノ得ベキ地ノ半ニ。等シキ地ノ廣サヲ。馳セ行ク。ヲ務ムレハナリ。○歩隊ノ内側面ニ。進行ヲ為ス。騎隊ノ。其翼ニ進ミ備フル同時間ニ。歩兵ハ必ス。為ス。能ハス。

余カ示セル如ク。軍隊ヲ縦隊ニ。分ケタル。グイベ

ルト。示セル處分ハ。第一ニ。縦隊ノ首ニ。戰陣列ヲ整ル為ニ。容易サヲ。為スヘキヲ示セル。信切ナリ。

第一ニ。縦隊ノ首ニ於ル。歩隊ト騎隊ト。共ニ混スル。ハ。此兩隊ヲ用ユルニ。適スル場ヲ。供フル為ニ。地形甚タ。狭小ヲ為スカ如キ。甚タ無益ノ動作ヲ。共ニ生スヘキヲ。余注意セシムベシ。

第二ニ。縦隊内側面ニ。進行スル諸騎隊ハ。其内側面ニ。排列スル。戰陣列ヲ。速ニ縦隊ノ首ニ。整齊シ得ベキヲ。余注意セシムベシ。

半線ヨリ成ル。四縦隊ニテ。右側面ヲ進行スル軍
隊ハ。其翼隊ヲ騎隊ニテ張リ。而シテ歩縦隊ノ内
側面ヲ進行スル騎隊ヲシテ。内側面ニ。排列セン
ムル。陣列ヲ作ス。甚タ易カルベシト。人恐ラク
ハ。評論スベシ。

余カ。此評論ヲ説破スルヲ。此ニ見ルヘシ。

第一ニ。若シ此類ノ動作ヲ為スニ。地形十分ニ
相適スルキハ。敵必ス縦隊ノ首。及ヒ左側面ヲ。
襲フトヲ企ツヘシ。而シテ。左ニ排列セントス
ル。軍兵ノ側面ヲ。敵容易ニ。攻メ撃ツベシ。

第二ニ。述ル所ノ理ニ。從ハハ容易ニハ。同時ニ
騎隊ヲ。翼隊ニ備ヘルヲ。能ハザル。縦隊ノ外側
面ニ。排列スルノ最要ト。先慮スルキハ。騎隊ノ
前陣ヲ布タカ。第一縦隊ノ首。騎隊ノ一隊ヲ。
進行セシムレハ。外側面ニ。排列セシムルヲ。容
易ナリ。

若シ側面ノ進行ニ於テ。同線ノ軍兵ヨリ。衆縦隊
ヲ作ルベカラサルヲ。試ミタル。引證ヲ。今欲ス
ルキハ。余「フレ」デ「キ」カ。證ヲ。引舉スベシ。而シテ
余之ヲ確論トシテ。人ノ注目スルヲ欲ス。何ト

ナレバ。大將常ニ。側面進行ヲ為ス。用ヒザレ
バナリ。○此王。七年ノ戦争中ニ。余輩。今立ツル所
ノ法則ニ。合ハサル事。一モ有ルヲナシ。

第七十章

側面進行ニ管レテ。發明セシ所ノ諸事ヲ。簡古ニ
明辨スヘシ。

歩隊ノ各線。風習ニテ殊異ナル。縦隊ヲ作ルベシ。
○騎隊ニ於テハ。兩翼ニ分カレテ。歩隊ノ首尾ニ
附シテ。縦隊ニテ進行スベシ。或ハ騎隊ハ。全ク同
様ニ。歩隊ノ首尾ニ附テ。縦隊ニテ進行スベシ。或

ハ騎隊ノ兩翼ハ。縦隊ヲナス為ニ。合一スベシ。又
タ歩隊ノ内側面ニ。縦隊ニテ進行スル為メ。合
一スヘシ。或ハ騎隊ノ一分ハ。歩隊ノ内側面ヲ進
行スベシ。其他ハ。單一縦隊ニテ進行スベキニ因
テ。又タ縦隊ノ首尾ニ附テ。進行スヘキニ因テナ
リ。

第七十一章

兩行道以上ノ行道ヲ開ク形勢
行軍ノ行列ニ。確定セルヲアリ。又タ齊整ニ定メ
タル。縦隊ノ數ニ應レテ。其軍兵ノ為ニ。開ク行道
ノ數ヲ調ヒ設クルヲアリ。○若ル遊軍隊アラサ

ルカ。又騎隊ノ全軍。首尾ニ進行スルカ。又夕戰陣
列ニ於テ。翼隊ニ成ル為ニ。縦隊ノ首尾ニ附テ。進
行スベキハ。行道ノ數ハ。二道ト定ムベシ。○若
シ縦隊ノ歩隊ト。共ニ進行スヘキ騎隊ハ。兩線ノ
軍隊ノ動作ニ。續テ動作スル。遊軍隊ヲ為スハ。
行道ノ數ハ。三道ト定ムベシ。○若シ騎隊ノ全軍
カ。或ハ一分カ。行軍内側面ニ。縦隊ヲ作スベキハ
ニハ。三行道ヲ開クヘシ。
若シ騎隊行軍内側面ニ。兩縦隊ヲ作スベキハニ
ハ。四行道ヲ開クヘシ。

第七十二章

余側面進行ニ就テ。此四處分ノ精撰ヲ。為シ得ル
理ヲ説クベシ。然レテ諸行道ノ間ニ。既ニ定メタ
ル數ヲ。容レ得ル距離ヲ。茲ニ説クヲ以テ。是レリ
トス。
既ニ高尚ニ論シタル。縦隊編制ニ管スルヲ。上章
ニ述ヘリ。○若シ縦隊半線ヨリ編制スルハ。実
ニ其行道ハ。側面ニ戰陣列ヲ作スヲ。常ニ豫備
スル軍隊ノ一線ノ軍兵ヨリ。編制セル。縦隊ノ為
ニ。開ケル行道ヨリ。甚タ近ク為スベシ。

第七十三章 行道ノ距離

第一縱隊ト。第二縱隊ノ。行道ノ距離ハ。通常三百
 ノトトレス。テルベシ。○此ノ後ニ。此法則ニ缺ク
 ルヲ。見ルベシ。○他縱隊ノ。行道ニ就テハ。縱隊
 甚タ近ク接ス。然シテ第二線隊ハ。敵ノ放火ヲ堪
 ヘルヲ。有ラザル為ニ。第一線ト。第二線ノ距離ヲ。
 三百ノトトレスト定メズ。○甚タ遠ク隔リタル。
 第三線。第四線ノ軍兵ハ。著シキ距離ヲ。為スノ要
 務アルヲナシ。

第七十四章

側面進行ヲ為ス。軍隊ノ。瞬間毎ニ。其外側面ニ於
 テ。戰陣列ヲ為スヲ。示シ得ル。要務ハ。諸行道ヲ。第
 一縱隊ノ後ニ。續クヲ必ス定ムベシ。○若シ。或ル
 地ニ於テ。其地形軍隊ヲ。遠ク隔ル形ヲ為シ。其後
 ニ。其形勢。近キ得ル模様ヲ。為ス。否ヤニ。直ニ相近
 キ接スベシ。

第七十五章

若シ前軍。進行ノ外側面ニ。向フベキキニハ。其前
 軍ノ為ニ。別ノ行道ヲ開クヲ。最モ數。勤ムベシ。○
 其方位ハ。縱隊外側面ニ。通常二千。或ハ三千ノ

トレスニアルヘシ。然レ其形勢ニ因リテ。多少
 相近ク。○行道ヲ開クヲ命ゼラレシ。長吏ハ。必ス
 軍隊進行ノ側面ヲ覆フニ良キ地位ニ。其行道ヲ
 向ケルノミ。注意スベシ。何トナレハ。此ノ如キ
 一ハ。前軍ノ定法タレハナリ。然レ其。救援ヲ妨ク
 ル障碍ニ因テ。縦隊ヲ隔絶スルヲ避ク。又敵ニ我
 軍隊ヲ圍ムヲ。授クベキ地ヲ。避クルナリ。
 茲ニ。余等。側面進行ヲ為スベキ法則ニ。移リ行ク
 ヘシ。

第七十六章 側面進行ヲ如何カ為スヘキヤ

側面進行ハ。軍隊ヲシテ。縦隊外側面ニ。戦陣列ヲ
 作ス備ヘノ為ノ策ヨリ。外ナラス。因テ軍隊ヲ漸
 クニ戰場ニ向ケ。又タ其廣マルニ因リテ。行列ノ
 長クナルヘキ進行ヲ。覆フニ良キ地ニ。向ハシム
 ヘシ。○是ニ因リテ。其側面ニ。敵ノ襲撃スルヲ。妨
 クル通行シ難キ。障碍アラザルキニハ。縦隊ノ外
 側面ニ。能ク知レタル。戰場ヲ有スルヲ。最モ要務
 ナリ。○若シ敵。縦隊ノ首ヲ。襲撃ニ来ルキハ。敵ヲ
 拒ミ得ル為ニ。其軍兵ノ齊整ヲ為スニ。地形十分
 ニ開ケアル處ニ於テハ。前面進行ノ地ニ能ク知

レアル。戰場ヲ有スルヲ。是レ又々同ク要務ナリ。
○此終ノ戰場ノ廣サハ。其時ニ臨テ。陣列ヲ布ク。
線ノ長ニ。同等ニアルヘシ。○又々側面進行ヲ開
クハ。前面進行ノ為ニ。示シタル法ニ。同法ニ因テ
導クヘシ。

第七十七章

第一縦隊ノ。行道ノ方位ハ。他隊ノ方位ヲ定ム。而
シテ。此行道ハ。進行ノ外側面ニ置ケル。國ヲ能ク
知リタル後ニ。自ラニ定メ向フヘシ。

第七十八章

進行前面ノ為ニ。地形開ケアル。國ニ於テハ。老練
ノ長吏ノ方略ニ從テ。其行道ヲ勤メ為スベシ。而
シテ。此長吏ハ。進行ノ方位ニ。鉛直線ノ。戰陣列ヲ。
整ヘ得ル。寨ヲ。縦隊ノ外側面ニ。為シ得ル方ニ。通
達シアルナリ。

側面進行ヲ開ク法則

側面進行ニ於ル。甚タ大ナル過ヲ避クル為ニ。注
意スベキ。一ニ。法則ヲ見ルベシ。

第七十九章 第一則

軍兵。戦利ヲ得難キ地形ニハ。第一縦隊ノ行列ヲ。

向クルヲ。最モ意ヲ用ヒテ避クベシ。此法則ハ。洞
道及ヒ狹隘道ヲ。避クルヲ治定スベシ。○他縦隊
ノ為ニ。此ノ類ノ道ヲ避クベシ。若シ彈丸破裂ヲ
始ムルキニ。其地ニ在ル。軍兵ヲ退カシムルヲ。難
ケレハナリ。

第八十章 第二則

進行ノ前面ヲ。敵ニ示サバ。勤メ為スヘシ。
何トナレハ。敵之ヲ知ルキハ。必ス我軍隊ノ側面
ニ。出レハナリ。○若シ其形勢。前面ヲ示サバ。求
得サルキハ。一ニノ場所ニテ。前面ヲ覆フヲ。求

ムヘシ。或ハ又第十三章ニ記載セル。法則ヲ用ユ
ヘシ。

第八十一章 第三則

形勢ニ因テハ。敵我進行ノ外側面ヲ。襲ヒニ来リ
得ル橋。狹道ヲ。損破スヘシ。又橋。狹道ヲ奪フヘキ
策ヲ。示スヘシ。○余其模様ニ從テ説ク。其故ハ。若
シ我軍全ク寨ヲ棄テ去ルキハ。敵我進行ヲ擾乱
スルノ。方畧ヲ破フル為ナリ。○若シ之ニ及レテ。
暫時寨ヲ去ルキハ。敵我進行ヲ擾乱スルニ。用ル
理アルノ間ハ。少シクトモ橋。及ヒ通路ヲ損セス。

残レ留ムヘシ。是レ後ニ敵ヲ襲撃ニ用ヒルヲア
レハナリ。

第八十二章

行軍ノ前部ニ在ル橋及ヒ通路ハ之ヲ保チ損セ
サルヲ要務ナリ。又タ通行スル國ノ廣場ニ於テ。
軍隊ノ進行ヲ容易ニ為シ得ヘキ諸事ヲ備フル
方畧ヲ最初ニ理解スルヲ要務ナリ。○若シ敵。其
橋及ヒ道路ヨリ。大軍ヲ招キ至ラシムルノ勢ア
ルカ。又最初ニ夫レヲ奪フニ容易ナラサルキ
非ラサレハ損破セス。

○行軍ノ前部ノ左右ニ。猶ホ他橋他道ノ在ルキ
ハ。敵ニ我縦隊ノ首ヲ襲撃サスルノ利ヲ授クル
カ。又敵我行軍ヲ支フルニ善キ寨ヲ備フルキハ。
我軍隊敵ヲ挫クノ方畧ヲ施シ行フヲ能ハサル
カヲ検査スヘシ。○若シ此橋及ヒ道路。我軍ニ授
クル利ハ。敵ニ授クルノ利ニ若カサルキハ。其橋
及ヒ道路ヲ損破スヘシ。○之ニ及スル時ニ於テ
ハ。橋道ヲ奪畧シ難キ時カ。又タ敵其橋道ニ至ル
ヘキキニ非ラサレハ。此決定ヲ為サス。

第八十三章 第五則

例言 卷之三 三
若シ軍隊。行軍自然ノ方位ニ於テカ。又々外側面ニ甚タ近キ所ニ於テ。必ス通行スベカラサル。大林ニシテ。敵我隊ヲ襲撃スル為ニ用ヒ得ヘキ。大林ニ遇フトアルハ。敵来リテ。我行軍ヲ擾乱シ。得サル為ニ。我外側面ニ十分遠隔シテ残スヘシ。或ハ又々。縦隊行列ヲ甚タシク長クセサルハ。此林ノ外ヲ通行セシムヘシ。○此處分ハ。同シク良法ナリ。何トナレハ。第一ニ。林ノ外側ハ。若シ敵我軍隊ヲ襲フトノ策ヲ為スルハ。寨ト成ルニ因テナリ。第二ニ。此林外ニ傍テ長クナリタル縦隊ハ。

敵其兵力ヲ分ク得ス。猶ホ林中ニ於テ。敵ヲ拒ム豫備ノ部署ヲ乱シ得サルニ因テナリ。第三ニ。敵備ヘナクシテハ。襲撃ノ處分ヲ為ス為ニ。林ヲ利トセス。又々襲撃處分ヲナス為ニ。陣列齊整ヲ作スヘキ為ニ。行軍ニ於ル軍隊ヲ拒ミ支ユル為ニ。林ヲ利トセス。○余大林ノ為ニ。説ク所ノ者ハ。村邑ノ長牆壁ナリ。此牆壁ハ。遊軍ヲ以テ。全ク奪畧セシムル。容易カラス。又々進行ノ外側面ヲ覆フニ用ユルモ。亦容易カラサルナリ。

第八十四章 第六則

弗爾西冬軍習 卷之三 三
龍理堂藏版

沼澤及ヒ其他障碍ハ。縦隊ノ内側面ニ於ルヨリ。外側面ニ為シ置クヘシ。○沼澤ハ。軍隊ノ側面ヲ覆ヒ。他障碍ハ。之ニ反シテ。動作及ヒ退軍ヲ苦シメテ。配意シテ。避クル能ハナル。害ヲ為ス。

第八十五章 第七則

然レモ。若シ小川。生垣。洞道及ヒ進行ノ方位ニ並行スル。一二障碍ハ。軍隊外側面ヲ覆フヲ能ハス。故ニ。其諸障碍ハ。縦隊間ニ為スヨリ。寧ロ内側面ニ為スヘシ。何トナレハ。此類ノ障碍ハ。戰陣列ヲ作ス。急務ノ時ニ當テ。各隊ノ軍兵ニ。相ヒ通スル

ノ線ヲ妨クルニ因テナリ。○若シ此ノ如キ要務アルトテ。先慮スルキハ。此諸障碍ノ動作ヲ妨ケサル為ニ。内側面ヨリ。十分著シク隔ル距離ニ諸障碍ヲ残シ置クヘシ。且ツ退軍ヲ容易クスル。道路ノ要務ナルキニ當テハ。夫レニ由テ。歸路ヲ開ク為メナリ。○此他。若シ余カ説ク所ノ障碍類ヲ。進行ノ側面ノ一方ニ。残シ為ス。容易カラサルカ。又タ此障碍ノ類。彼此隊ヲシテ。相ヒ隔タラシムルト。アルキハ。各隊。此障碍ノ地ヲ。過ルヤ。否ヤニ。各隊ヲ。相ヒ近接セシムヘシ。

伊藤西谷屋智藏 卷之三 連理堂藏

第八十六章 第八則

敵ノ近部ニ。高岡アルキハ。軍兵動作ヲ陰クス為ニ。其行軍ハ。高岡ノ後ヲ續行スヘシ。或ハ軍兵ヲ。敵ノ方ヘ傾ケル岡背。半腹ニ向ケシムヘシ。其故ハ。炮火高岡ノ頂ヨリ。稀ナレハナリ。或ハ若シ。敵岡ノ半腹ヲ。奪領シアルキハ。軍兵ヲ岡上ニ向ハシムヘシ。又タ岡背ヲ進行スルヲ。容易カラサルキモ。亦岡上ニ軍兵ヲ向ハシムヘシ。○此諸處分ハ。其時ノ模様ニ從テ。決定スヘシ。

第八十七章 第九則

若シ之ニ反シテ。敵奪畧シタル高處ニ。甚タ近キ岡ニ。遇フキハ。行道ヲ遠ク避クヘシ。其故ハ。敵ノ炮火ニテ。我行軍ヲ擾乱スルヲモ。亦タ此砲火ヲ用テ。我軍ヲ襲撃スルヲモ。敵為シ能ハサレハナリ。

第八十八章 第十則

軍兵一列ニテ。進行スヘキ。要務ノ場ニ於テハ。進行ノ外側面ヲ。覆フニ良キ。村邑。城。及ヒ。塙壁。等ノ如キ場所ヲ。明知スベシ。然シテ。俄頃ニ築キタル。寨ノ前面ヲ。モ。亦明知スヘシ。是レ。敵我軍隊ヲ襲

第百五卷 卷之三 連理堂藏

撃スルニ。便利ナル間道ヲ。其場所ニ備フルカ。或ハ其場所。我軍隊ノ側面ヲ。射放スルニ便ナル砲臺ヲ。築造ニ善ナルカ。然レ我軍近クキニハ。擾乱ヲ蒙ルカラ。明知スルカ為ナリ。○時アツテ。或地ヲ奪畧シテ。十分ニ進行ヲ為ス。アリ。然シテ其前部ニ少シモ恐ルヘキ。ナキハ。漸々ニ。其地ヲ立チ去ルナリ。

此ノ如キ場所ヲ。進行ノ外側面ニ。當ル方畧ニテ。常ノ行道ヲ。向ケナスヘシ。何トナレハ。戦争ノ時ニ當テ。軍隊備銃壁トナス。寨ノ外部ニナル故ナ

リ。然シテ。容易ニ勝利ヲ得ル。機會ニ非サレハ。縦隊ノ通行ヲナサス。○臨時寨ノ本然ノ一地トナル。此類ノ場所通行ヲ。容易ク為シ得ヘシ。

第八十九章 第十一則

若シ敵我縦隊ノ首ヲ。襲ヒ得ヘキ。開ケタル平易ノ地ニ。行道ヲ向クルキニ。其進行ノ方位ニ。直線ノ地ノ左右側面ヲ。必ス為スヘキ小街。或ハ小邑。墻壁。密林。沼澤。等ヲ見ルキハ。此ノ場所ヲ。行道ノ外側面ニ為スヨリ。寧ロ内側面ニナスヘシ。第一ニ。其故ハ。敵恐ラクハ。其地ヲ奪畧シ。然シテ後ニ。

襲撃ノ動作ヲ助クル為メ。又其動作ヲ陰クス為
メニ。用ユルトモ。其利アラサルカ為ナリ。第二ニ
既ニ説ケル如ク。内側面上ニ。廣マル前ニ。縦隊ノ
首ニ布ク。諸戦陣ハ。縦隊ノ首。危難ニ傾クキニ。其
所ヘ到ル動作ハ。遅クシテ困難ナルカ如ク。此新
戦陣ノ翼隊ヲ。作ス。甚タ難ケレハナリ。第三ニ。
若シ其地。内側面ニ。置キアルキハ。其地。縦隊ノ外
側面ニ。置キアル如ク。其地ヲ別隊ヲシテ。速ニ奪
畧セシムル。甚タ容易ケレハナリ。

第九十章 第十二則

敵我縦隊ノ前部ヲ。襲撃シ得ル程ニ。十分ニ開ケ
タル國中ヲ。進行スル軍隊ハ。縦隊ノ方位ニ。直線
ニ齊整ノ。側面ノ一方ヲ。覆フニ善キ同等ノ兩場
所ヲ。見ルキハ。第一縦隊ヲ。敵ニ近キ場所ヲ。通行
セシムルヲ勤ムヘシ。○其時ニハ。第一ニ。此場所。
縦隊ノ首ヲ。覆フニ善キ。利徳ヲナスヘシ。第二ニ。
縦隊ノ方位ニ。直線ノ戦陣列ヲ。布ク要務トナル
キハ。必ス占メ得ヘキ。新位置ナル側面ノ一方ヲ。
切實ニ。ナスノ利ヲ与フヘシ。第三ニ。此新戦陣ノ
齊整ヲ。カヌ益シテ。防キ保ツノ利ヲ為スヘシ。但

軍前各隊ノ
卷之三
七
軍里堂藏版

シ相ヒ對スル翼隊ハ。他ノ場所ニ因テ。同時ニ覆
ハレテアルヘシ。○此天然ノ場所。諸動作ノ為ニ。
利ヲ与フルニ因テ。余輩ヲシテ。全ク開ケタル地
ニ於テハ。炮臺ヲ備ヘ設クルハ。須臾モ怠ルヘ
カラサルノ。大事タルヲ示セリ。

第九十一章 第十三則

若シ進行ノ前部ニ於テ。敵我縦隊ノ首ニ向ヒ。襲
撃處分ヲ。為スノ理アル。開ケタル平易ノ地ニ。遇
フハ。行道ノ間ニ。距離ヲ増スヘシ。是レ其要務
ノ時ニ當テ。縦隊ノ首ニ。最モ速ニ戰陣列ノ作シ

得ヘキ為ナリ。即チ千七百六十年。フレデリキ軍
隊ヲ率テ。トルゴウノ戰ニ。往ク為ニ。ランゲンレ
ーセンバツク野ヲ去テ。アンデンハイン平原ヲ
横行セシ時ニ。此ノ如ク處分ヲ為セリ。

第九十二章 第十四則

若シ縦隊進行ノ近クニ。少シ傾キタル岡アリテ。
縦隊ノ外側面ニ當テ。其軍隊ヲ陰シ得ルハ。
其行道ヲ。岡後ニ開クカ。或ハ半腹ニ開クヘシ。
○フレデリキ。千七百五十七年。リサノ戰爭前ニ。
其軍隊ヲ。ロベチンヅ岡ト。カルトッキヅ岡トノ後

二縱隊ニ排列セシメシ時ニ用ヒシ方畧ナリ。

第九十三章 第十五則

側面行軍ノ行道ノ廣ハ減スルト雖モ。前面行軍ノ者ニ同等タルヘシ。○時アツテ。百羅敦隊。常距離ニテ縱隊ニ進行スル各線其第二ノ半。第一ノ半ニ違ヘル道路ニ進行シ得ル様ニ。若シ其地形之ヲ許スルハ其廣ヲ二倍トナシ。或ハ三倍トナス。然レモ。第一線ノ後ノ高處ニ於テナスヘシ。○此急速ノ法。軍隊ヲシテ。縱隊ノ長ヲ為ス。難事ノ一分ヲ除テ進行セシム。且ツ其側面ニ最モ速ニ

戰陣列ヲ作ス。方畧ヲモ亦失ハシメス。

第九十四章 第十六則

前面行軍ニ於ル如ク。側面行軍ニ於テモ。亦同ク配慮シ。沿澤多キ行道ヲ避クヘシ。

第九十五章

余茲ニ側面行軍ニ管シテ。記載スル規則ノ一分ヲ。明解スル為ニ。一例ヲ示スニ及ヘリ。

「ヘルゼーム岡」ニ軍レ。ランドウヲ奪略シタル。軍隊ノ大將。アルサセヲ覆フ為ニ。ミンヘルドニ築キタル寨ヲ。追ヒ出ス。ラ。決定セリ。○此末ノ軍

伊蘭西答風都勢 卷之三 達理堂

隊。シフバクノ諸通路ヲ。損壞シ。又タ奪畧セリ。然レ氏。側面攻撃ト。俱ニ與ニ為サバ。ルキハ。實ニ。不
用ノ前面攻撃トナル者ナリ。○軍隊引キ離レテ
アルキハ。側面攻撃モ。亦利ヲ得ル。少カルベシ。
何トナレハ。通行スベキ道路ヲ有セス。且ツ外ニ
容易ク開クヘキ。行道ヲモ有セザル敵。我側面ヲ
撃チニ。向ハシムル方位ニ。其軍隊ヲ。最モ容易ク。
移シ行カシムルガ故ナリ。
軍等スル大将ハ。直チニ。兩攻撃ヲ俱ニ為スヘキ
トヲ。注目ス即チ。一ハ前面攻撃。一ハ側面攻撃ナ

リ。○前面攻撃。○海シテシ及ヒ。ヘルゲルスウー
レ。ノ方ヨリ。為スヘキ。明ナリ。○側面攻撃ハ。
ベルグザベルン。及ヒ。レーンザベルン。ノ方ヘ。向
フベキカラ。決定スルヲ勤メリ。○此。ベルグザベ
ルン。ト。レーンザベルン。ノ地ハ。實ニ。ヘルセーム
野ニ。甚タ接近セリ。然レ氏。○第一ニ。其地ニ到ル
為ニハ。衆多ノ林。及ヒ沼澤ヲ。横行セサルヲ得ス。
○第二ニ。レーンザベルン。及ヒ。ステーンウーレ
ルトノ間ニアル。地形ノ峻岨ハ。敵ノ前面ヲ襲フ
軍兵ト。其右側面ヲ襲フ軍兵ト。相ヒ救フヲ。妨ク

弗蘭西答風都勢 卷之三 達理堂

ルナルヘシ。○第三ニ、ベワルドノ一二ノ林ハ、レ
インザベルンシヲ奪略シタル後ニ、ミンヘルト原
側面ヲ攻撃スルヲ難カラシムベシ。且ツ兩隊ノ
合一ヲ遲滞セシムヘシ。此合一スルハ、軍隊數
分ニ分レテ、攻撃スヘシト決定セル合一ナリ。○
之ニ及シテ、若シ「ベルグザベルン」ノ側面ノ攻撃
ヲ為サントスルハ、第一ニ、兩隊ヲ甚タ相近ク
ナスヘシ。第二ニ、軍隊ハ、甚タ平易ノ地ニ、因テ以
テ、相ヒ救援スヘシ。第三ニ、ボケス山ヨリ、下リナ
ル「ミンヘルド」ノ戰地ナル高處ハ、其地ノ形勢、ベ

ルグザベルンシノ高處ヨリ、走り行クヤ否ヤニ、其
寨ノ左側面ニ、向ヒテ為ス。諸攻撃ヲ助クヘシ。第
四ニ、諸機會ニ於テハ、ランドウニ切實ナル退軍
ヲ、為シ得ヘシ。○其故ニ、エルセームノ高處ニ、軍
シタル、軍隊ノ大將「ミンヘルド」戰場ノ左側ヲ、奪
略スル為ニ、ベルグザベルンシノ方ヨリ、軍兵ノ大
勢ヲ率ヒルトト、ヘルゲルスウーレルノ方ノ軍
隊ヲ、同時ニ、近ツカシムルヲ、決定セリ。第一ニ、
「ベルグザベルン」ノ方ヨリ、全軍ヲ率ヒ來ル敵ヲ、
丈フル為メナリ。第二ニ、他軍隊ノ動作ニ、一二時

弗蘭西各國の戦況
卷之三
整理堂藏板

間。因惑ヲ抱カシムル為メナリ。第三ニ。バルベル
ロテ林中ニ在ル。敵兵ノ後ヲ脅シテ彼等ヲシテ。
退軍セシムル為ナリ。第四ニ。軍隊ノ一分ヲ以テ。
バルベルロテ林外ヲ奪畧セシムル為ナリ。○「ヘ
ルセーム」ノ高處ニ。軍シタル大将。是ニ於テ。ピリ
クヘーム近クニ。軍隊ヲ引キ分カルヲ。命ジタ
ル一隊ヲ作ル。此隊ノ進行ハ嶮道ヲ經タリ。此軍
隊ヲ兩縱隊ニナシテ。輜重ヲ持セズニ。進行セシ
ムルヲ。決定セリ。而シテ。バルベルロテ林ヲ横
行シテ。ヘルセーム戰地ヨリ。ベルグザベルン

ニマテ。側面進行ヲ為ス。一ヲ。偏將ニ命セリ。○偏
將ハ。行道ヲ開クヲ。任シタル。長吏。三人ノ間ニ。
坑手ノ分配ヲ初ム。而シテ其横行スヘキ絶地ヲ。
彼坑手ヲシテ。堀リ穿タシムル為ニ。別隊ノ輕裝
軍兵ヲ。附属ス。然シテ其殘兵ヲシテ。第一縱隊ノ
行道ヲ開ク。坑手ノ左側面ヲ防禦スルニ用ユ。○
軍隊。前面ノ前ニ。至レル後ニ。直ニ進行ノ初メヲ。
蔽クス所ノ。ヘルセーム高處ノ背ニ。第一縱隊
ノ行列ヲ向ケリ。而シテ大ニ開ケル平地ヲ。望觀
スル為ニ。高處ノ頂上ニ。登ルナルヘシ。○茲ニ。兩

事ノ間ニ。撰ヲ為スヘキヲ。注目スルヲアリ。即チ「ウルバツクヲ。通行スルヲト。ステインウレレレ。邑ノ右ニアル。平原ニ至ル為ニ。ステインウレレ。ルノ林ニ。傍テ行クヲナリ。或ハ又タ「ビリクヘト。ムノ周圍ニ於ル。小川ヲ渡ルニ。其林ノ左。及ヒ「ウルバツクヲ。通行スルヲナリ。○第一ノ事ハ。行ヒ難シト思ヘリ。第一ニ。其故ハ「ウルバツクヲ。通行スルニ於テハ。進行ヲ初ムルヲ。猶豫セシムルコトヲ。起セハナリ。是レ乃チ。若シ敵或ル處ニ。顯レ来ルノ目標アルニ於テハ。甚タ憂患ノ事ナレハナリ。

第二ニ。何トナレハ「ウステインウレレ。林外ニ。備ル寨ハ。再攻撃ニ遇フ。大害アルカ為ナリ。其故ハ「レ。シガベルン。及ヒ其近部ノ林ヲ。奪畧シタル敵ハ「エウレンバツクノ助ケニ因テ。進行ノ左側面ヲ。襲撃シ得ヘキカ為ナリ。其間ニ於テ他隊ハ。縦隊ノ首ヲ。襲ヒニ来ル為ニ。シフバツク。或ハ「ヘルゲルスウレレヲ。通行スヘケレハナリ。○是故ニ。「ウルバツクヲ。其左側面ニ為スト。ステインウレレ。林ヲ。奪畧スルニ非レハ。守護シ難キ。ヘルスセトムト。「ロルバツクノ間ニ。作りタル諸橋ヲ。破壊

佛蘭西各國軍勢
卷之三
連理堂
佛蘭西各國軍勢
卷之三
連理堂

佛蘭西各領略 卷之三 地理

スルトノ策ヲ為セリ。○「ヘルスセーム」ト「インセ
ーム」トノ間ニ在ル。高處ニ行列ヲ向ケリ。第一ニ。
其地ハ進行ノ側面ニ。一ノ寨ヲ為ス故ナリ。第二
ニ。敵襲撃ノ處分ヲ。為スニ用ヒ得ル。ステインウ
ーレル林ヨリ。此寨ニ因テ。隔タルカ故ナリ。○十
分ニ開ケタル地ニ於テ。偏將「ワールバック」ニ派レ入
ル。水邊ニ在ル高處ハ。若シ敵。我縦隊ノ首ニ。顯レ
ルキニハ。利便ノ寨ヲ投クヘシト。注目セリ。又タ。
偏將「インセーム」ニ。近キタルニ因テ。第一ニ。ステ
インウーレル林ニ。甚タ近ツクニ。非レハ。此村邑

ヲ右ニ為ス。能ハスト思ヘリ。第二ニ。之ニ反シテ。
若シ其左ニ留マルキニハ。○「インセーム」ハ。進行ノ
外側面ヲ。十分ニ覆フヘシト。思ヘリ。第三ニ。若シ
敵我縦隊ノ首ニ。顯ハル。キニハ。○「インセーム」ト。
インフリンゲンノ間ニ。置ケル高處ハ。此「インフ
リンゲン」邑。及ヒ其右ニ置ケル。蒲陶生垣ニ因テ。
右側面ヲ覆フヘキ。地位ヲ授クルト。思ヘリ。第四
ニ。若シ縦隊ニテ。○「インセーム」ヲ横行スルキニハ。
此地位ヲ奪畧スル。方畧ヲ減損スヘシト。思ヘリ。
是ニ因テ。偏將「インセーム」邑ノ右ニ。直ニ行道ヲ

佛蘭西各領略 卷之三 地理

指レ示セリ。然レ此通常ヨリ多ク。遠サカリテ。而シテ「インセーム」ノ兩街道ヲ設ク。一ハ「ランドウ」一ハ「インフリンゲン」ヘ導クナリ。是レ防禦スル為ニ。必用ナル軍兵ハ。其道ニ因テ。最モ容易ニ。廻リ得ル為メナリ。偏將。之カ為ニ。「ロルバック」ノ右ニ。行道ヲ向ケリ。何トナレハ。縦隊「ウルバック」ヲ。通行スヘキ場所ニ於テ。進行ノ外側面ヲ覆フ為ナリ。此類ノ地位ヲ。用ル「ハ」。大事ナルカ故ナリ。○「ウルバック」ノ枝川。及ビ「ピリックヘーム」邑ハ。若シ敵。我縦隊ノ首ヲ襲ニ

近クキハ。便利ナル地位ノ。前面ヲ覆フヘシ。○「ロルバック」邑中ニ於テ。防禦ニ要務ナル。諸行道ヲ開ク「フ」初メリ。而シテ後ニ。搗ヲ備ヘ設ケリ。外ニ「アルホーヘン」及ヒ「インケンヘーム」近ク。新ニ搗ヲ作レリ。何トナレハ。此兩邑ハ。「ウルバック」ノ。第二枝川ノ通行ヲ。覆フニ善キヲ。顯スヲ以テナリ。○是ニ因テ。「ピリックヘーム」ト「ベルグザベルン」ノ道ノ方位ヲ。行道ニ為セリ。而シテ「バルベルン」ノ林中ニ入ル前ニ。軍隊間ニ。其距離ヲ同シク増セリ。是レ林ノ此方ニ。置ケル高處ニ。容易ク軍隊ヲ。排

佛蘭西各屬地略 卷之三 地理堂 繪

列スル為メト。若シ敵。此場所ヲ奪畧シテアルハ。攻撃ノ陣列ヲ作ス為ナリ。○行道ヲ開クヲ命セラレシ長吏ハ。バルベルロテ林中ニ進入シテ。後ニ其地位ニ從テ。部署ス。然レ氏。其後ニ行道ヲ。アルテルバツクノ左ト。右トニ向ケリ。何トナレハ。アルテルバツクノ少シノ高處ニ。在ル三邑ハ。敵。縦隊ノ首ヲ。脅カス時ニ當テハ。占メ得ル地位ヲ。覆フベキカ故ナリ。○其後ニ。軍隊ノ一部ニ。一地位ヲ授クル邑右ニ。置ケル林外ニ。傍テ。行道ヲ為セリ。然シテ「ベルグザベルン」ノ右ニ。置ケル林ニ

テ。覆フタル山中ニ。カ^カ及^ク。高ク行列ヲ長メリ。○「ベルグザベルン」ヲ襲フヲ。命セラレシ大将。此行道ノ方位ニ因テ。ドルスウ^ルレ^ルノ高處ノ後ニ。攻撃陣列ノ一部ヲ。蔽クシ得ヘシ。○大将。敵ニ。側面ヲ亂サル。トヲ恐レス。其故ハ。大将敵ノ奪畧シタル所ヨリ。高キ處ノ奪畧ヲ。遂ケレシニハ。敵ノ襲撃ヲ。為シ難キ山頂ヨリ。救援シ得レハナリ。

第二縦隊ノ行道ヲ。開クヲ命セラレシ長吏ハ。第一縦隊ノ方位ニ。行列ヲ為スヲ齊整ス。然シテ長

伊能嘉矩 卷之三
史異令ヲ受ケシキヲ除ク第一隊ト第二隊トノ
行列ノ間ニ。三百歩ノ距離ヲナス。○絶地ニ於テ。
數々有ル如ク。若シヘルスセムノ。高處ノ端ニ
置ケル。小林ノ如キ。行列ヲ甚タシク分裂スル障
碍ニ遇フキハ。其分裂シタル行列。地形ノ模様。相
ヒ接シ得ルヤ否ヤニ。相ヒ接近スベシ。
軍兵ト共ニ。進行ヲ為サ、ル。輜重轉送ヲ宰スル
長吏ハ。軍兵縱隊ノ行列ヨリ。甚タシク相ヒ接近
セシムヘシ。然ノ最モ簡易ノ轉送ヲ。欲スルキニ
非ラサレハ。相ヒ遠サカラシマス。

第三網

前面ト側面ト順次ニナス行軍

此類ノ行軍ニ於テ。説クヘキ一事アリ。即チ軍隊
其前面ニ於テ。直線ノ如ク。進行スヘキ。地形ニ於
テハ。前面行軍ノ法則ニ從ヒテ。開クヘキ行列ト。
軍隊其前面ニ於テ。平行線ノ如ク。進行スヘキ地
形ニ於テハ。側面行軍ノ法則ニ從ヒテ。開クヘキ
行列トナリ。○茲ニ注目スヘキ。諸事ヲ見ルヘシ。

第九十七章 第一則

此類ノ行軍ヲ開ク為メノ法則

若シ軍隊側面行軍ノ順列ヲ為ス為ニ。前面行軍ノ順列ヲ捨テント欲スルキニ。若シ地形全ク開ケテアラサルニ於テハ。縦隊ヲ行軍ノ新順列ニ。作シ得ル程ニ。諸別隊ノ行列間ニ。相ヒ通スル道ヲ開クヘシ。○此ノ配慮ハ。自ラ同事ナリ。何トナレハ。大將。前面行軍ヨリ。側面行軍ニ。移ラシムル為ニ。用ル一方略ハ。各縦隊。各分隊ヲ。戰陣列ニ於テ。線ヲ有スル數ニ從テ。衆多ノ小分隊ニ分ケテ。然ノ戰陣列ニ於ル。線分ヲ作スヘキ。諸分隊ヲ相ヒ互ニ順次ニ。排列スヘケレハナリ。○若シ前面

行軍ニ於テ。翼縦隊ヲ作ス。騎隊ハ。側面行軍ノ内縦隊ヲ。作スヘキキニハ。行軍ノ初ヨリ。騎隊ノ為ニ。別行道ヲ開キ置ク。同ク要務ナリ。

第九十八章 第二則

若シ軍隊前ニ反シテ。前面行軍ノ順列ヲ。作ス為ニ。側面行軍ヲ。捨ツヘキキハ。前面行軍ニ於ル。諸分隊ノ。續行スヘキ。諸行道ト。側面行軍ニ於ル。諸線ヲ。續行スヘキ。行道ト。相ヒ通セシムヘシ。然レテ。各分隊。一縦隊ニ。合一スル為ニハ。各分ノ諸線ヲ。同時ニ。右ト左トニ。廻ルニテ事足レリトス。

佛蘭西文藝叢書 卷之三 第一 地理堂藏版

此兩法則ノ注意ハ。通常容易ナルヘシ。

第九十九章

第一ニ。若シ軍隊其新方位ニ。平行線ニテ。戰地ヲ
續行シ得ルキニ。アラサレハ。軍隊側面進行ノ行
列ヲ。為スタメニ。前面進行ノ。行列ヲ捨テス。第二
ニ。若シ此進行ノ。方位ノ外側面。通行シ難キ場所
ニテ。覆フテアル時ニ。アラサレハ。側面進行ノ。行
列ヲ。為スタメニ。前面進行ノ。行列ヲ捨テス。第三
ニ。此外側面。軍兵ニテ。覆ワレテアル時ニ。アラサ
レハ。側面進行ノ。行列ヲナス為メニ。前面進行ノ。

行列ヲ捨テス。

○然レモ第一ニ於テハ。戰地ノ考ヒト。諸部容易
ク。相ヒ救援シ得ル。地形ノ考ヒトヲ。共ニス。第二
ニ於テハ。進行ハ。敵ノ彈丸。至ラサル外ノ。動作ノ
類ニ屬ス。第三ノ進行ハ。余カ第三編ニ於テ。説ク
ベキ進行ノ類ニ。順序ス。

終ノ兩事ニ於テハ。余何ノ故ニ。迅速動作ニ。甚タ
良キ。前面進行ノ。順列ヲ。變スルカヲ知ラス。○一ハ
ルデナンドデブルンス。穿ツク候。指揮スル所ノ
別隊。殆ンドラシンドウニ傍フト。アンラトニ

佛蘭西各軍 卷之三 三三
移ル為ニ。四縱隊ニテ。前面進行シテ。至リシ所ノ。
「セントアントイ子」ノ近部ヲ。去リシ時ニ。クレウ
「グ」ノ戦争ニ於テ。為セル如ク。縦隊ノ方位ヲ。変ス
ルニ於テ。事足レリ。是ニ由テ。「フランサイス」大將
「ラベルグ」ノ。奪略シタル地位ヲ。其地利ノ善ナル
ノ故ヲ以テ。之ヲ追フ。甚タ難事タリ。

第百章 第三則

若シ國ノ地形。進行側面ニ。十分相ヒ遠サカリシ。
衆多ノ行道アルキニ。アラサレハ。軍隊ハ。前面進
行ヲ。為スタメニ。側面進行ヲ捨テス。其他。軍隊ノ

齊整ヲ變化スルノ。利アルヲナレ。何トナレハ。軍
隊變化ハ。縦隊ノ首ニ於テ。戰陣列ヲ作スヲ。同等
ニ。急速ニスル。能ハサレハナリ。○然レモ。若シ側
面進行ヲ。宜シク開テアリシ。時ニ。前面進行ノ為
ニ。用ユヘキ行道ハ。側面進行ニ於ル。第一縦隊ニ。
用ル行道ノ高處ニ。アラサレハ。至ルヲ能ハザル
カ如ク。容易ナラザルナリ。且ツ。側面進行ノ。内縦
隊ノ。行道ニマテ。長クナス能ハス。

第四綱

軍隊ノ一部。側面ヲ進行スル際ニ。他隊ハ。前

面ヲ進行スル。行軍ヲ開ク。

第百一章

軍隊ノ二部。異ナル位地ニ備フルヲ。示サレザルキハ。一部ノ軍隊。前面ヲ進行スル際ニ。他ノ一部ノ軍隊ハ。必ス其側面ヲ進行セス。

第百二章

若シ敵。防禦ノ備アルキハ。軍隊ノ二部。襲撃ヲ為ス時ノ如ク。異ナル位置ニ。數々備フルヲ。勤ムルヲ信ナリ。何トナレハ。敵其側面ヲ覆フ為ニ。柵ヲ結フヲ。數々ナレハナリ。然ノ他隊。前面進行ヲ。

為スノ際ニ。一分ノ軍隊。側面進行ヲ。遂クル動作ハ。雙方ヨリ。敵ヲ襲撃スルノ。策ヨリ外ナラス。○茲ニ其理ヲ見ルヘシ。○我軍隊。前後ニ。進行スルノ際ニ。若シ敵。我軍隊ノ側面ヲ襲フント欲スルキニハ。軍隊ハ。翼縱隊ニ因テ。十分ニ覆ワレテ。見ユルヲアリ。而シテ。此時ニ當テハ。縱隊。其期スル所ニ。至ル為ニ。進行スルノ。要務アラサルヘシ。此ノ要務ノ。縱隊。襲撃ノ動作ニ於テ。敵ノ側面ヲ。攻撃スヘキキニ。勤メ為スモノナリ。○縱隊。其側面ニ。戰陣列ヲ作スニテ。事足レリ。若シ分隊。其距離ヲ

存シアルキニハ。殊ニ然リ。

第百三章

軍隊異ナル方位ニ。進行スル兩隊ニ。分カル
機會。

若シ軍隊ノ一部ハ。敵ノ前面ヲ。襲フ際ニ。他ノ一
部ノ軍隊ハ。敵ノ側面カ。或ハ後陣ヲ。襲フヘキ時
ニアラサレハ。軍隊兩隊ニ。分カレテ。一隊。前面ヲ
進行スル際ニ。一隊。側面ノ進行ヲ為サ、ルヲ。
此先慮ニ因テ。我輩ニ。察然トメ。明カナラシム。○
敵ノ前面。側面ヲ。同時ニ。襲撃スヘキ毎ニ。軍隊ノ

一部ハ。側面ヲ進行スルハ。最要タラサルヲ。我輩
少シク。見知スルナリ。

第百四章

余今マ。軍隊ハ。敵ノ全軍ニ因テ。其側面。或ハ後軍
ヲ。掩ハル、一信實ナラサルヲ。目撃セシムルヲ
以テ始メリ。然ノ。是ニ因テ。余直ニ。敵ノ前部ヲ。撃
ツヘキ隊ハ。前面進行ニ因テ。其軍務ヲ。達スルヲ
ヲ。確定スルニ及ヘリ。○敵ノ側面。及ヒ後軍ニ向
ヒ。戦フヲ。命セラシ軍兵ハ。前面動作ヲ為シテ。
其地位ニ。至リ達スルヲ。務メ得ル。形勢ヲ。余此次

二。述へ説クヘシ。

第百五章

敵ノ側面攻撃ヲ命セラレシ軍兵ハ平易ノ地ニ於テ動作シ其期スル所ニ至リ得ル形勢ト進行ノ方位ヲ通りテ其地ニ至リ得ル形勢ニ於テハ其軍兵他ノ軍兵ト共ニ動作スルニモセヨ又タ兵ヲ用ヒ難キ地ニ因テ隔ツルニモセヨ軍隊ノ動作ハ前面行軍ノ法則ニ從テ為サスンハアルヘカラサルヲ明カナリ其故ハ軍隊其進行ノ方位ニ直線ヨリ外ニハ戰陣列ノ齊整ヲ勤メ為ス

ヲ知ラサレハナリ。○字漏生王ノ軍隊此法則ニ從テ其進行ヲ調ヘタリシ時即チ千七百六十年ニトルガウノ戰ニ於テ甚タ速ニ其陣列ヲ調ヘタリ。

第百六章

若シ軍兵ノ一隊平易ノ地ニ動作シテ敵ノ側面カ或ハ後備ヲ撃ツヘキ時ハ其動作ヲ側面行軍ノ類ニ入ル、。要務タリ何トナレハ軍隊線ニ動作スルカ又タ縦隊ニ動作スルニアラサレハ其欲スル所ニ至リ得サレハナリ。○若シ軍隊線

三動作ヲ為スルハ敵ヲ亂ス為ニ直チニ斜ニ進
 行スヘシ。或ハ其後ニ變化ノ動作。又タ前面ノ變
 化ヲ為スヘシ。○然レモ線動作ノ類ニ入レヘキ。
 此ノ前章ノ法ハ遲滯ニシテ混亂ス。而シテ地形ニ因
 テ多ク用ヒ難シ。○若シ此ノ同隊之ニ反シテ縱隊
 ニ動作シテ敵ノ側面ヲ攻撃スルニ定マル時ハ
 此ノ縱隊及ヒ諸ノ縱隊共ニ定距離ヲ為スヘキ。最
 要ナリ。此ノ動作ハ側面行軍ノ類ニ序次ス何トナ
 レハ。一縱隊或ハ衆ノ縱隊ニ成ル所ノ別隊行軍ノ
 側面ヲ證スルヲ此ノ如クナレハナリ。

側面ヲ通りテ動作スル別隊ノ進行前面ハ其側
 面ヨリモ暴露セサルヲ謀ルヘシ。然レモ余側
 面行軍ノ法令篇ニ於テハ若シ軍隊衆ノ縱隊ヨリ
 編制セルルハ軍隊ノ前部ヲ證スルノ方略ヲ書
 キ著スヘシ。且ツ軍隊ノ一部側面ヲ通りテ動作
 スル際ニ他隊ハ前面ヲ進行スル軍隊ノ行軍法
 令篇ニ於テハ若シ其軍隊軍隊ヨリ編制シアル
 キハ其側面ヲ通りテ進行スル隊ノ首ヲ證スル
 方略ヲ余説キ述ヘシ。○余側面ヲ通りテ進行ス
 ル軍隊ノ前部ヲ證スル為ニ説キ示スヘキ。進行

佛蘭西答風習錄 卷之三 三

ノ法令ハ。前面ヲ進行スル。軍隊。其側面ヲ證スル
為ニ。為ス所ノ豫備ト。大同ヲ為サバルカヲ。見ル
ヘキヲアリ。

第百七章

諸例ハ。事實ノ助ケトナリ。而ノ最モ數々事ヲ。發
明セシムルニ至ル。○余是ニ由テ。兩事ヲ記載ス。
即チ敵ノ側面カ。或ハ後陣ヲ攻撃スヘキ隊ハ。進
行ノ方位ヲ通りテ。其目標ヲ達スヘキ隊ニハ。前
面進行ヲ。遂クヘキヲ。試レ為ナリ。又々之ニ反
シテ。若シ軍隊其目標ヲ。遂クル為ニ。開ケタル地

ニテ。動作スヘキ片ニハ。側面進行ノ法則ニ從テ。
動作スヘキヲ。試レ為ナリ。
千七百五十八年。第十二月十日。ルウテルンベル
グノ戰ニ。二線ノ軍兵ヨリ。編制セルセヘルトノ
隊ハ。大將ヲベルクノ左側面ヲ。攻撃スルヲ決セ
リ。其際ニ。他軍隊ハ。前面ヲ襲フ為ニ。數縱隊ニテ。
近ク為メナリ。然レモ。ソindelホウセン小川ノ。
流レル谷ト。セーゲルステインノ後ニ。在ル。樹木
茂レル高處。ストルベルグ。一ハ此他軍隊ヲ。分裂
シ。一ハ軍兵ニ。行ヒ難キ側面ヲ。覆フヲ惠ミ助

ケリ。セヘルト。進行ノ方位ニ因テ。敵ノ側面攻撃ヲ。為シ。而ノ前面行軍ヲ。為スヘキ。兩縦隊ヲ作レリ。其故ハ。第一縦隊ハ。歩隊ノ右ヨリ編制シ。第二縦隊ハ。同歩隊ノ左ヨリ。編制セルニ因テナリ。三拔隊龍ニ附従セル。銃隊ハ。兩銃隊ノ間ヲ進行セリ。而ノ騎隊ハ。縦隊ニ續行セリ。○「シ」ゲルステイ「ン」ノ高處ノ後ヲ通りテ。其左ニ進行シタル敵。セヘルト「ノ」部スル佛軍隊ヲ。襲フ為ニ。近キタリシ「ト」ニ。我ノ縦隊ノ首ニ。戦陣列ヲ為スハ。要務タルヘキカラ。考究スル為メニハ。ル「ト」テルベルグ

戦ノ方畧ニ。目ヲ注クヲ以テ。事足レリトス。然レ「ト」セヘルト。是時ニ。全ク進行ノ行列ヲ。調ヘタリシ「ト」見ユルナリ。若シ。當時排列ノ法ヲ。通知シアル「ト」於テハ。宜シク軍利ヲ得タルヘシ。千七百六十年。第八月二十日。ストレーレンノ戦争ニ。ストルベルグ公ノ軍隊。大將クレトヘルドノ軍隊ハ。宇漏生軍ノ右側面。及ヒ後軍ヲ攻撃シ。其際ニ。他ノ帝家ノ軍隊ハ。前面ニ近クヘシ。ト決定セリ。○軍隊ハ。大將「フル」セン「ノ」目前ニ。在ルニ因テ。其動作ヲ。各處ニ依テ。覆フヲ得ス。且ツ行

佛蘭西各原野戰 卷之三 聖里堂藏版

軍ノ常方位ヲ通りテ。敵ノ側面ニ至ルヲモ得
スレテ。其左側面ヲ通りテ。進行ヲ為セリ。

第百八章

他軍隊ハ。前軍ヲ攻撃スル為ニ。近ク際ニ。敵ノ側
面カ。或ハ後軍ヲ攻撃スヘキ。軍隊ノ為スヘキ。動
作ノ事務ニ述ヘシ事ハ。此隊ノ行列ヲ開ク為ニ。
則トルヘキ法則ヲ。十分明カニ示セリ。何トナレ
ハ。他隊ハ。前面行軍ノ法則ニ從テ。行軍ヲ開クヘ
キカ故ナリ。

行道ヲ開ク法則

若レ。軍隊。進行ノ方位ヲ通りテ。敵ノ側面カ。後軍
ヲ攻撃スヘキ時ニ。前面行軍ノ法則ニ從テ。敵
ノ側面。或ハ後軍ヲ攻撃スヘシト。決定シタル隊
ノ行道ヲ開クヘシ。○若レ。軍隊。平易ノ地ニ於テ。
動作スル時ニハ。之ニ反レテ。側面行軍ノ法則ニ
從テ。行道ヲ開クヘシ。
此差別ハ。單線ノ軍兵ヨリ。編制セル隊ノ為ニア
ラス。又タ二線ノ軍兵。單縱隊ヲ編制スヘキ時ハ。
同ク二線ノ軍兵ヨリ。編制セル隊ノ為ニモアラ
ス。何トナレハ。別縱隊ノ行道ヲ開クコトハ。其定メ。

第百八章 軍隊ノ法則 卷之三 三

步兵操典 卷之三 連理堂

如何ナリトモ。常ニ同等ナレハナリ。而ノ単縦隊ニテ。動作スル隊ノ。前面行軍ト。側面行軍トノ間ニアル。一ノ差別ハ。軍兵一ハ縦隊ニ曲カリ。一ハ縦隊ニ分カルナリ。

然レモ。此差別ハ。之ニ反シテ。全ク數線ヨリ。編制セル。隊ノ為ニ。衆多縦隊ニテ。動作スル為ニ。示セルナリ。實ニ軍隊ハ。行道ノ數ト。隊間ニ必ス。為スヘキ距離トヲ。確定ス。○然レモ。此末事ニ就テ敵ノ側面。及ヒ後軍ヲ襲フトヲ。定メタル軍隊。其側面ヲ通りテ。震動スル時ニ。同ク。縦隊ノ首ニ。戰陣

列ニ齊整ヲ。容易ニセシムル為ニ。行道ノ定距離ハ。宜シク増スヘキヲ。余實驗セリ。○此豫備ハ。行列。敵ノ側面ニ。至リアル前ニ。殊ニ利アリトス。何トナレハ。是時ニ當テ。敵。我隊ヲ彼ヲ廻ラシト。定メタル軍隊ヲ。最モ容易ク。襲撃ヲ為シ。得ルヲアレハナリ。

隊間ノ行道ノ距離ハ。敵ノ側面。及ヒ後軍ヲ。攻撃スヘシト。決シタル隊。其方畧ヲ。遂クル動作ハ。如何ナリトモ。此隊ノ行列ノ距離ハ。最モ近キ。縦隊ノ距離ニ。一致ヲ為サ

弗蘭西軍制 卷之三 老里

ス。ハアルヘカラス。之ヲ詳ニ述レキハ。若シ軍隊。排列シアルキニ。人ノ説ク所ノ。縦隊ノ軍兵。常ニ備フル地ニ於テ。同等タルヘシト云フナリ。
○此法則ニ。注意スルハ。軍兵ノ一齊ヲ。保チ守ルニ。必ス要務ナリ。而ノ其遠ク避ケ得ル模様。兩事ヨリ。他ニアラス。次章ヲ見ルヘシ。
第一ニ。若シ敵ノ側面カ。後軍ヲ攻撃スヘシト。定メタル隊。通行シ難キ。一二ノ障碍ニ因リテ。他ノ軍隊ト。隔テ分裂サル。ナリ。然レモ。敵ノ側面カ。或ハ後軍ノ攻撃ヲ。決シタル軍隊。進行ノ方位

ヲ通リテ。其意ヲ達セント。欲スルキニ。アラサレハ。此ノ如キヲ生セス。
第二。敵又圍ム為ニ。廣マルヲ。決定シタルキ。若レ敵。我軍隊ノ。諸部ノ合一ヲ。必トスル狭道ト。双方ノ間ニ。置ケル地ヲ。覆フ場所ヲ。備ヘタルキニ。遠サカリ隔タルナリ。
第百十章
敵ノ前面攻撃ヲ。決シタル軍隊ニ。前面ノ動作ヲ。遂ケシムル。混同ノ行軍ヲ。注目セシムル。諸事ヲ。茲ニ見ルヘシ。○千七百五十九年ニ。キツルズド

弗爾百之五ノ幾 卷之三 三

佛蘭西答屈智幾卷之三終
 ルフノ戦ニ於テ。アツシ如ク。敵ノ側面。及ヒ後軍
 フ攻撃スヘキ軍兵ニ。不意ニ。前面ノ動作ヲ為サ
 シメ。而シテ他ノ軍隊ハ。敵ノ前面。側面。後軍攻撃ス
 ル為ニ。側面ヲ通りテ。進行スルヲ勤メタリシル
 ノ。諸事ハ。此篇ニ於テ。説明セル考案ヲ。變セシム
 ルヲ決シタリ。

佛蘭西答屈智幾卷之三終

發行

書林

東京府日本橋通二丁目

山城屋佐兵衛

同淺草茅町二丁目

須原屋伊八

